

環境調査結果のお知らせ

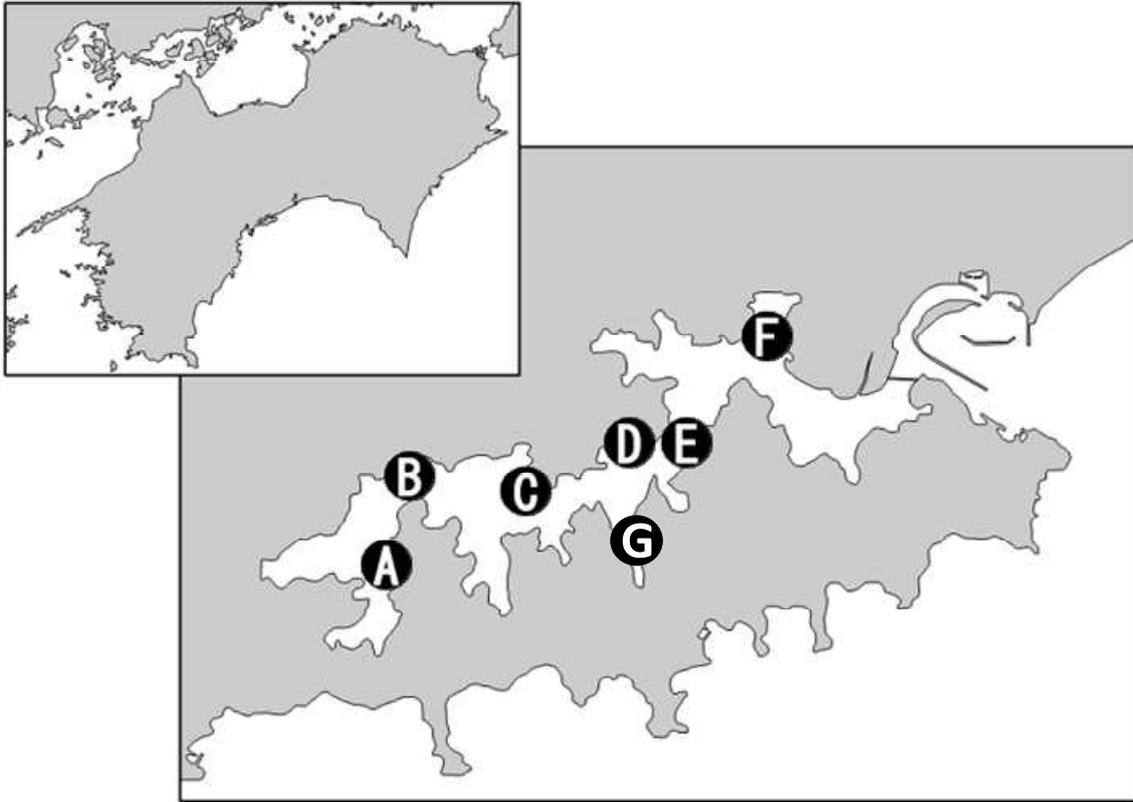
令和6年9月9日11時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で95 cells/mL、タカヤマ属が最高で1,700 cells/mL確認されました。また、貝類に対して有害なヘテロカプサ・サーキュラリスカーマが最高で220 cells/mL確認されました。

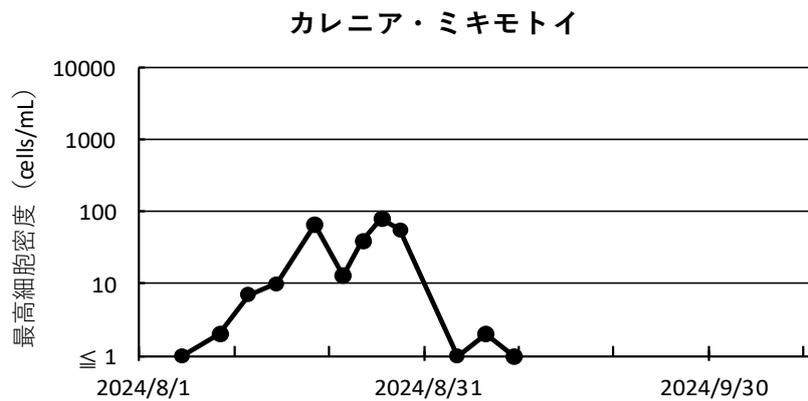
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	ヘテロカプサ・ サーキュラリスカーマ	タカヤマ 属
	(m)	(°C)		(mg/L)				
A 鳴無 (3.2m) 【11:04】	0	31.0	26.2	7.9	0	0	0	200
	2	31.4	28.6	8.2	0	0	0	60
	5	29.8	29.3	1.0	0	95	180	0
	底層 8.5	29.6	30.0	0.0	0	75	0	0
B 中学校前 (3.2m) 【11:15】	0	30.5	25.7	8.1	0	0	0	1,700
	2	31.5	28.1	7.9	0	0	0	160
	5	29.7	29.3	3.7	0	12	160	6
	10	29.7	30.3	0.2	0	0	0	0
底層 12	29.4	31.1	0.0	-	-	-	0	
C 目ノクソ (4m) 【11:25】	0	30.8	25.2	8.2	0	0	0	940
	2	30.9	28.3	7.6	0	0	0	220
	5	29.8	29.3	5.3	0	0	100	0
	10	29.4	30.1	2.1	0	0	0	0
底層 15	29.2	31.3	0.1	-	-	-	0	
D 光松 (4m) 【11:46】	0	30.9	25.7	7.9	0	0	0	1,120
	2	30.5	28.6	7.6	0	0	0	140
	5	29.7	29.4	6.4	0	0	40	0
	10	29.4	30.0	2.9	0	0	0	0
底層 16.5	29.2	31.3	0.0	-	-	-	0	
E 大鹿 (4m) 【11:55】	0	30.9	25.9	7.9	0	0	0	1,120
	2	30.4	28.6	7.8	0	0	0	190
	5	29.7	29.5	6.1	0	0	0	30
	10	29.4	30.1	3.7	0	1	0	0
底層 16.5	29.1	31.3	0.0	-	-	-	0	
F 水試小割前 (3.5m) 【12:04】	0	30.8	26.5	7.8	0	0	0	1,420
	2	30.6	27.8	7.8	0	0	0	1,240
	5	29.5	29.7	5.8	0	0	0	40
	底層 9	29.4	29.9	5.5	-	-	-	0
G 福良 (2.7m) 【11:36】	0	31.4	26.2	6.3	0	1	0	360
	2	30.4	28.6	4.3	0	10	220	20
	5	29.6	29.3	2.7	0	1	0	20
	10	29.3	29.9	0.3	0	0	0	0
底層 10.5	29.3	30.1	0.1	-	-	-	-	

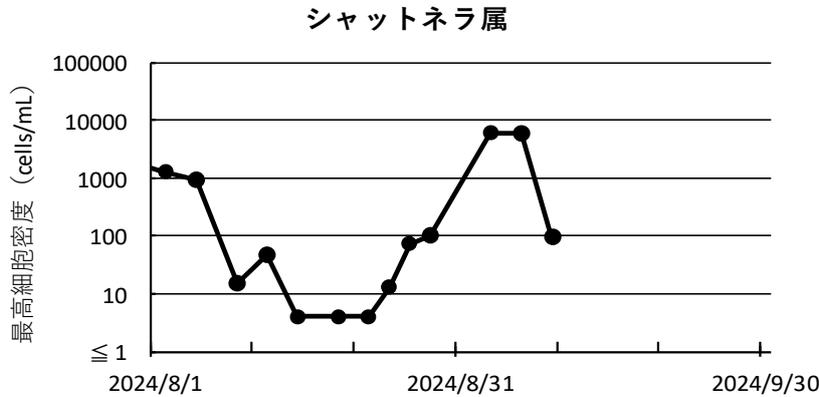


- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前
- G: 福良

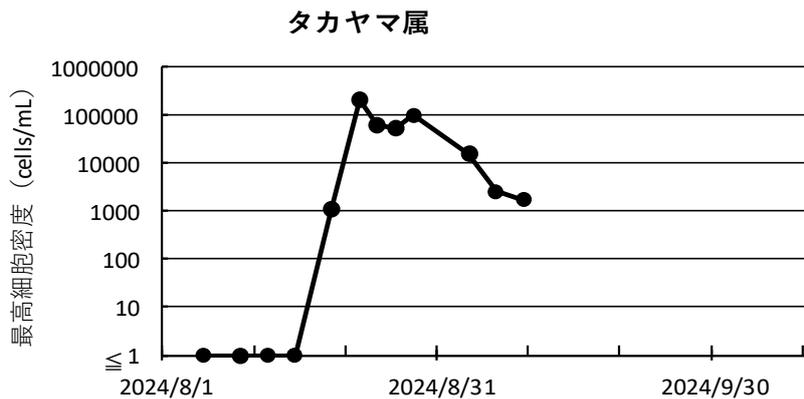
令和6年度 浦ノ内湾におけるカレニア・ミキモトイの最高細胞密度の推移



令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



令和6年度 浦ノ内湾におけるタカヤマ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrioides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。